

# 黒木西

黒木西小

学校だより

文責:校長 齋藤英義

令和3年7月7日(水)

NO.07



## くつ(スリッパ)並べ

前号に引き続き、半世紀前の私が子どもだった頃の話から始めさせていただきます。

「嫌だなあ、やりたくないなあ。」と思いつつながら勉強していると、必ず担任の先生が「英義君！いやいや勉強しても身につかんよ！先生はちゃんとわかるだよ！」と言われました。私は、「気持ちが悪くなるわけじゃない。でまかせやん！」と思いつつも、いつも言い当てられたことにびっくりしたことを覚えています。

しかし、わかるんです。子どもの表情、動作(ものの扱い方等)を見てみると、伝わってくるんです。つまり、心(気持ち)がものに表示れることが多いんです。

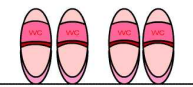


プールが始まり、昇降口のところにバスタオルで作っていた足拭きマットを置いてあります。当然のごとく子どもたちはビチャビチャの足を拭き、教室へ入ります。後には、役目を果たしたマットが、まんくれまんくれ(ぐちゃぐちゃの意)状態で置かれていきます。その横を通る子どもたちは、気にならない様子。数日間、トイレのスリッパと靴箱も観察しました。

### はきものをそろえる

はきものをそろえると心もそろって心がそろって、はきものもそろってぬぐとときにそろえておくと、はくときに心がみだれないだれかがみだしておいたら、だまってそろえておいてあげよう。そうすればきっと、世界中の人の心もそろっていきましょう。

次の人への思いやり



私たちの環境は、私たちの心を映し出していると言われます。例えば、心がみだれている時は、机の上や部屋も乱れてきますよね。同時に、環境も私たちの心に影響を与えています。

すから、机の上や部屋を片付けると、気持ちまで整理されます。

はき物をそろえるとは、まずは基本である足元から整えようということですね。

藤本幸邦さんによると、禅宗では、はきものをそろえることから修行が始まり、他にも様々な作法を学ぶそうです。作法によってカタチを整えると、心まで整ってくるというわけです。

### 「カタチを整えると心が整う」

これを機会に、私たちの心に影響を与えている日ごろの習慣を見直してみるのもいいかもしれません。

さて、上述した靴箱の観察の件ですが、12日間観察したところ、全校で4人の子どもたちが毎日靴のかかとをそろえることができていました。「靴をそろえましょう」と呼びかけたわけではなく、何も言わずこっそりと観察したのですが、この4人には脱帽です。私自身の靴の並べ方を見直すいいきっかけを与えてもらったと思っています。

最後にもうひとつ、藤本幸邦さんが興味深いお話を書かれています。

道元禅師が開いた永平寺に行き、トイレに入ると、スリッパがすべてトイレの中側に向けてそろっているそうです。(本校でもそのように並べるよう指導しています。下写真)

ちょっとスケールの大きな話になりますが、スリッパを後から入る人のために”回れ右”してそろえておくということは、これから来る子孫、これからの人類のために、美しい地球環境を残そうとする思いと通じるものがあるとのこと。

後から来る人たちのためにスリッパをそろえる。



【本校トイレスリッパの様子】

こうした思いやりの習慣を誰もが身につけていたら、きっと素晴らしい人間関係が醸成され、すばらしい学校になると思います。日常的な習慣をしっかりと身につけながら、まんくれまんくれのマットのこと、友だちのこと、さらには子孫のこと、人類のことなどのグローバルなことも考えていくことができればいいと思います。子どもたちのお手本になれるよう、靴並べ頑張ります！

